

## Ⅲ 結果の活用に向けて

Ⅲ 結果の活用  
に向けて

各地域の「学力・学習状況」検証事業 検証協力校  
の取組についても掲載しています

# 1 地域別の傾向

## (1) 葛南地区

### 教科についての傾向と課題

\* 例示した設問や出題の趣旨等は、以下のうち、特徴的なものである。  
 ○ 正答率が全国と比べて低いもの  
 ○ 正答率そのものが低いもの  
 \* [ ] 内の学年は、学習学年を示している。

#### 小学校 国語

「知識(A問題)」は「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域が低下している。「活用(B問題)」は「自分の考えをまとめること」に課題が見られる。

- ・国語A<sup>5</sup> 「文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書く」 [3、4年]
- ・国語A<sup>8</sup> オ 「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う」 [5、6年]
- ・国語B<sup>1</sup> 三 「話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる」 [5、6年]
- ・国語B<sup>2</sup> 二 「目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く」 [5、6年]

#### 中学校・国語

「知識(A問題)」は「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域が低下している。「活用(B問題)」は「内容を整理したり、考えをまとめたりすること」に課題が見られる。

- ・国語A<sup>8</sup> 一 1 「文脈に即して漢字を正しく書く」 [2年]
- ・国語A<sup>8</sup> 六 2 「歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む」 [1年]
- ・国語B<sup>1</sup> 三 「目的に応じて文を読み、内容を整理して書く」 [1、2年]
- ・国語B<sup>2</sup> 三 「全体と部分との関係に注意して相手の反応を踏まえながら話す」 [1年]

#### 小学校 算数

「知識(A問題)」、「活用(B問題)」ともに前年度と同程度であり、「量と測定」領域が前年度より低下している。

- ・算数A<sup>1</sup> (2) 「1に当たる大きさを求める場面における数量関係を理解し、数直線上に表すことができる」 [5年]
- ・算数A<sup>7</sup> (2) 「直径と円周の長さの関係について理解している」 [3、5年]
- ・算数B<sup>1</sup> (1) 「敷き詰められた模様の中から、条件に合う図形を見いだす」 [2、3、4、5年]
- ・算数B<sup>3</sup> (1) 「メモとグラフを関連付け、メモの内容を解釈し、その特徴を記述する」 [3年]

#### 中学校 数学

「知識(A問題)」、「活用(B問題)」ともに前年度と同程度であり、「関数」領域が前年度より上昇している。

- ・数学A<sup>1</sup> (2) 「絶対値の意味を理解している」 [1年]
- ・数学A<sup>2</sup> (1) 「数量の大小関係を不等式に表す」 [1年]
- ・数学B<sup>2</sup> (2) 「事柄が成り立つ理由を、構想を立てて説明する」 [2年]
- ・数学B<sup>5</sup> (2) 「数学的な結果の解釈を通して、成り立つ事柄を判断し、その理由を説明する」 [2年]

#### 小学校 理科

『知識』に関する問題では、理科で学習する用語に対する理解に課題が見られる。

『活用』に関する問題では、観察・実験に対するまとめについての理解がよくできている。

- ・理科<sup>1</sup> (3) 「うでを曲げたりすることができる骨と骨のつなぎめの名前を答える」 [4年]
- ・理科<sup>2</sup> (1) 「土や石を積もらせるはたらきの名前を答える」 [5年]
- ・理科<sup>1</sup> (2) 「鳥のつばさや人の手やうでのつくりについて本で調べた内容をもとにまとめる」 [4年]
- ・理科<sup>4</sup> (4) 「実験の結果から言えることを学習問題に照らし合わせてまとめる」 [4、5年]

#### 中学校 理科

『知識』に関する問題では、理科で学習する用語に対する理解および計算を伴う問題、化学反応式の作成に課題が見られる。『活用』に関する問題では、は実験方法を考える際に条件制御に関する内容に課題が見られる。

- ・理科<sup>2</sup> (2) 「質量パーセント濃度を求める」 [1年]
- ・理科<sup>4</sup> (3) 「原子の数に気を付けて化学反応式のモデルを修正する」 [2年]
- ・理科<sup>5</sup> (1) 「反応の経路について答える」 [2年]
- ・理科<sup>9</sup> (1) 「水蒸気が植物から出る働きについて答える」 [1年]
- ・理科<sup>4</sup> (2) 「実験の際に変えない条件を考える(条件制御)」 [2年]

# 課題が見られた設問の例

## 小学校 国語 [3・4年] [A 5]

5 大山さんは、春休みの出来事について文章を書いたあと、読み返して、……部と……部とのつながりが合っていない文があることに気づきました。次の【春休みの出来事の一部】をよく読んで後の(問い)にこたえましょう。

【春休みの出来事の一部】

①ほくは、校庭で野球の練習を毎日がんばりました。その努力は見事に実りました。②ほくたちのチームは、地区大会で優勝したのです。③今年の春休みは、とてもじゆう実したものでした。でも、反省していることもあります。④反省点は、用具の手入れをあまりしませんでした。これからは、練習だけでなく、用具の手入れもしっかりがんばりたいと思います。

(問い) ……部と……部とのつながりが合っていない分の番号を①から④までのなかから一つ選んで書きましょう。また、……部はそのままでして、文の意味が変わらないように、選んだ文を正しく書き直しましょう。

相手や目的に応じ、伝えたいことが伝わるように文章を書くためには、文の中の語句の役割や、語句相互の関係を付けて、文をどのように組み立てればよいかを考えることが大切であり、文の中における主語と述語との関係などに注意して文を正しく書くことができるかどうかをみる。

## 中学校 国語 [1年] [B 2](三)

2 山川さんは、総合的な学習の時間に、ロボットについて発表しています。次は、山川さんが発表のために作成した【資料】(発表の直前の場面)と、それに続く【発表・質問の場面(一部)】です。これらを読んであとの問いに答えなさい。

(資料等) 省略

三 山川さんは、最後にロボットに期待することを述べて発表をまとめます。山川さんの進め方として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

1 これまで話してきた内容や聞き手とのやり取りを踏まえた上で、【資料】の中の(3)の情報を取り上げながら発表をまとめます。

2 聞き手とのやり取りを通して生まれた新たな考えをもとに、【資料】の中の(1)と(2)の情報を基に発表をまとめます。

3 これまで話してきた内容や聞き手とのやり取りを踏まえずに、【資料】の中の(3)の情報を基に発表をまとめます。

4 聞き手とのやり取りの内容を受けて話の方向を転換し、【資料】の中の(3)の情報を基に発表をまとめます。

全体と部分、事実と意見との関係に注意して話を構成し、相手の反応を踏まえながら話すことができるかどうかをみる。

## 小学校 算数 [5年] [A 1](2)

1 0.4mの重さが60gの針金があります。この針金について、次の問題に答えましょう。

(2) 針金1mの重さが何gになるかを考えます。1mの重さを□gとして、針金の長さ(0.4m)と重さ(60g)の関係を下の図に表します。針金0.4mの「0.4」、0.4mの重さ60gの「60」、1mの重さ□gの「□」のそれぞれの場所は、下の図のどこになりますか。

アからオまでの中から、あてはまるものを一つずつ選んで、その記号を書きましょう。



計算の能力を身に付けているかどうかをみる。

- ・除法で表すことができる二つの数量の関係を理解していること。
- ・小数の除法の問題場面において、二つの数量の関係を数直線に表すこと。
- ・除数が小数の場合の1に当たる大きさを求める式を理解していること。

## 中学校 数学 [1年] [A 2](1)

2 次の(1)から(4)までの各問いに答えなさい。

(1) 「1個 akg の荷物3個と1個 bkg の荷物4個の全体の重さは15kg 以上である」という数量の関係を、不等式で表しなさい。

事象において比べようとする数量に着目し、それらを数や文字を用いた式で表し、不等号を用いて数量の大小関係を適切に表すことができるように指導すること。

本設問を使って授業を行う際には、1個 akg の荷物3個の重さを 3a、1個 bkg の荷物4個の重さを 4b、荷物全体の重さを 3a+4b と表現し、その重さが15kg以上であることから、3a+4bは15 または15より大きいと捉え、このことを不等号を用いて 3a+4b ≥ 15 と表せるように指導すること。

## 小学校 理科 [4年] [1](3)・[2](1)

1 【たかしさんのまとめ】<鳥のつばさや人の手やうでのつくり>

同じところ

- つばさやうでのつけ根からのびる骨は1本で、その骨から2本の骨がつながっている。
- 鳥のつばさにも人のうでのつばさを折りたたんだりうでを曲げたりすることができる骨と骨のつなぎ目がある。

ちがうところ

- 骨の数は、鳥より人の方が多い。
- 骨と骨のつなぎ目の数は、鳥より人の方が多い。

骨と骨のつなぎ目について、科学的な言葉を理解しているかどうかをみる。

2 流れる水のはたらきにより、川が曲がっているところの外側では地面がけずられて、内側では流れてきた土や石を積もらせるからだと思うよ。

(1) かつやさんの予想にあるような、ながれる水の「土や石を積もらせる」はたらきを何と言いますか。そのことばを下の1から3までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

1 たい積 2 運ばん 3 しん食

堆積作用について、科学的な言葉を理解しているかどうかをみる。

## 中学校 理科 [2年] [5](1)

5 ヒトの刺激と反応について、日常生活と関連する課題を、理科の授業で科学的に探究しました。

### 日常生活との関連を考える場面 (一部省略)

先生：ところで、バスの注意書きの「お客様へお乗りをされたことがありますか。なぜ話しかけてはいけないのでしょうか。生徒：信号を見てブレーキを踏むのが遅れるからだと思います。先生：なるほど。でも、信号を見てブレーキを踏むのが遅れることを確かめることはできません。そこで、運転中の運転士に話しかけてはいけない理由を探究するために、「反応の時間を測定する装置」を使って確かめることができる実験を計画しましょう。



(1) 下線部の反応の経路を下のように示したとき、× に適する語句を書きなさい。

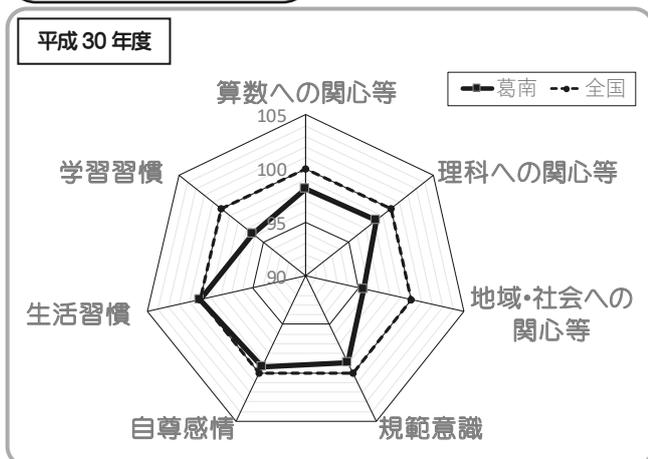
目 → × 神経 → 脳・脊髄 → 運動神経 → 筋肉

神経系の働きについての知識を身に付けているかどうかをみる。

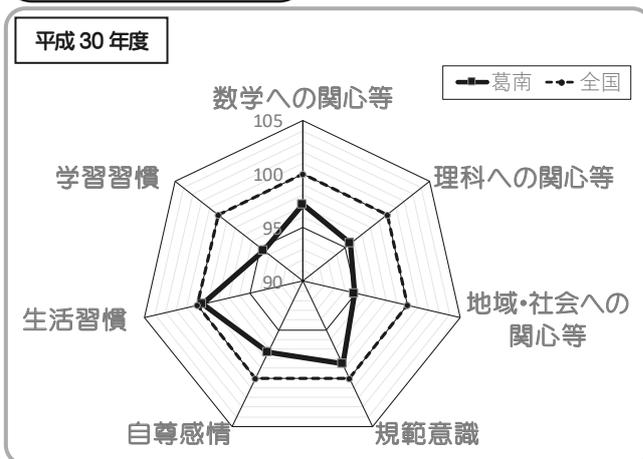
## 生活習慣や学習環境等について

\*チャート図は、全国平均を100としたときの指数で示している。

### 児童質問紙から



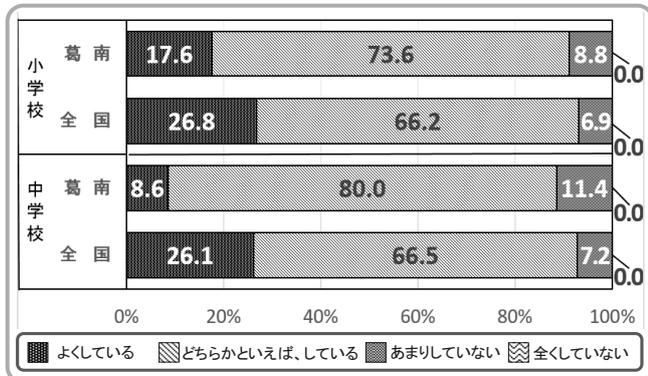
### 生徒質問紙から



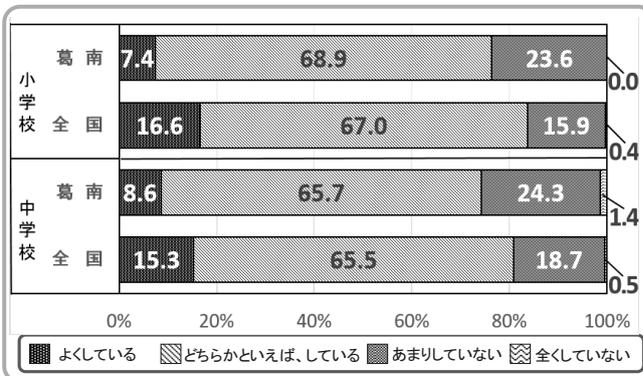
児童生徒ともに、「生活習慣」(【7】朝食喫食【8】就寝時刻【9】起床時刻)については、全国と同等の傾向にあるが、「学習習慣」(【10】自分で計画を立てて学習【11】学校の宿題【12】予習・復習【13】教科書を使用した自学自習)については、全国と比べて低い傾向にある。また、児童生徒ともに、「地域・社会への関心等」が、全国と比べて低い傾向にある。

### 学校質問紙から 『主体的・対話的で深い学びの充実に向けて』

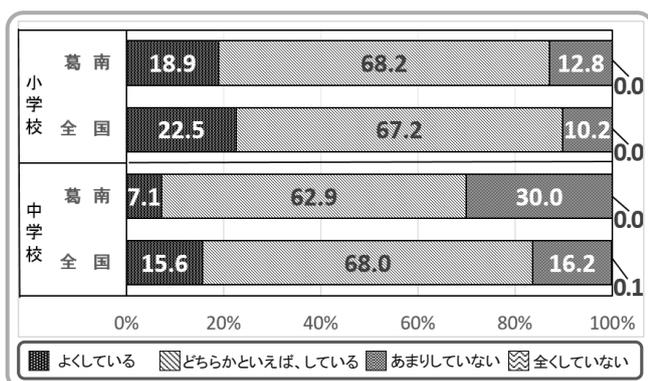
小22 中21 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をされましたか



小13 中13 調査対象学年の児童生徒は、自らが設定する課題や教員から設定される課題を理解して授業に取り組むことができていると思いますか



小26 中25 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか



- ・【小22・中21】については、小学校は「どちらかといえば、している」の回答が全国に比べて高いが、「よくしている」の回答は低く、中学校は全国に比べて低い状況にある。
- ・【小13・中13】の項目では、小中ともに「よくしている」の回答が全国と比べて低く、「あまりしていない」「まったくしていない」を併せた回答も小中ともに低い状況にある。
- ・【小26・中25】の項目では、肯定的回答の割合が小学校は全国とほぼ同程度であるが、中学校が全国と比べて低くなっている。

### 【市川市立鬼高小学校】

校内研修を通して「書く力」に課題があることを明確にし、全職員共通理解の下、授業改善に取り組んだ。

#### 【具体的取組】

第5学年「子ども句会／歌会を開こう」という単元では、俳句や短歌を作るだけでなく、その作品の背景や作った思い等を作品に添付する実践に取り組んだ。「作品の背景にあるものや自身の思いを、読み手に伝わるように書く」という条件をつけることで、「書く力」の向上を図った。

#### 【取組のまとめ】

- ・児童の実態分析を全職員で行い、様々な条件で書く力を培うことについて共通理解を図った。
- ・PDCAサイクルの視点での授業実践に全職員で取り組み、講義形式の授業からの改善を図った。今後、授業の実態を把握できるアンケート等、検証可能なデータについて検討していく。
- ・言語活動を通して指導事項の明確化を図り、様々な条件のもと「ともに考え合う」をキーワードに、書く力の指導を重点的に行ったところ、国語B「書くこと」の領域で無解答率が下がった。

### 【市川市立稲荷木小学校】

全職員で児童の実態分析や共通事項を確認するとともに、中学校ブロックで作成した「授業の約束」を全学級で指導する等、授業改善の取組を進めた。

#### 【具体的取組】

全学年で、「学習問題」は青、「まとめ」は赤に統一し、わかりやすい板書に取り組んだ。また、中学校ブロックで作成した「授業の約束『これだけは！』」を各学級に掲示し意識化を図った。国語科において、年間を通して単元ごとの初発の感想の記入を行うとともに、行事や総合的な学習の時間等、他教科において体験したことや考えを文章にまとめる活動の日常化に取り組んだ。算数科の指導において、中学年以上の全ての学級で担任と加配教員が習熟度別指導等のきめ細かな指導を行った。

#### 【取組のまとめ】

- ・年度初めに全職員で共通理解することで、学校全体で統一した指導を行うことができた。
- ・年間を通して「考えを書く」活動を日常化したことにより、平成30年度全国学力・学習状況調査の国語A「読むこと」「書くこと」の領域では全国平均を上回る結果となった。

### 【市川市立第六中学校】

調査結果の細かな分析を基に、授業改善や基礎・基本の定着を図る取組を進めた。数学科においては、習熟度別少人数指導を行い、学力の向上を図った。

#### 【具体的取組】

- ・校務分掌に「校内学力検証」という分掌を置き、全国学力・学習状況調査を分析し、経年データを利用した領域や能力別の正答率の高低を分析。課題に取り組む校内体制をつくった。
- ・担任と加配教員による少人数指導の工夫、きめ細かな指導に取り組んだ。また、誤答例を参考に一人一人のつまづきをつかみ、放課後学習等での資料として活用した。

#### 【取組のまとめ】

- ・習熟度別少人数指導を工夫することは、数学の学力向上に有効であることが確認できた。
- ・生徒による「授業評価」を年間2回行い、指導方法の改善に活かしている。2学期初めと3学期初めに授業改善できる箇所を個別に記載し、全職員が閲覧できるようにした。
- ・朝学習や小テストを有効活用することで基礎・基本の定着を図るとともに、放課後を中心とした「校内塾」を活用することで自分で課題を見つけて学習する機会になった。

(2) 東葛飾地区

教科についての傾向と課題

\*例示した設問や出題の趣旨等は、以下のうち、特徴的なものである。  
 ○正答率が全国と比べて低いもの  
 ○正答率そのものが低いもの  
 \* [ ] 内の学年は、学習学年を示している。

小学校  
国語

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」や「話すこと・聞くこと」、「書くこと」に課題が見られる。

- ・国語A<sup>5</sup> 「文の中における主語と述語の関係などに注意して、文を正しく書く」 [3、4年]
- ・国語A<sup>8</sup> オ 「書かれている内容や文の意味を理解し、文の中で漢字を正しく使う(せつ極的)」 [5、6年]
- ・国語B<sup>1</sup> 三 「相手の話の内容を十分聞き取り、共通点や相違点等を整理し、自分の考えをまとめる」 [5、6年]
- ・国語B<sup>2</sup> 二 「推薦する理由として適切な内容を取り上げ、相手に伝わるように詳しく書く」 [5、6年]

中学校  
国語

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」や「話すこと・聞くこと」に課題が見られる。

- ・国語A<sup>8</sup> 1 「文脈に即して漢字を正しく書く(紙をひもでタバねる)」 [2年]
- ・国語A<sup>8</sup> 六 2 「歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む(とほさざるなし)」 [1年]
- ・国語B<sup>2</sup> 三 「ロボットに期待することを述べて発表をまとめる際の話の進め方として適切なものを選択する」 [1年]

小学校  
算数

第4学年、第5学年の「量と測定」「図形」に課題が見られる。

- ・算数A<sup>1</sup> (2) 「針金0.4mと0.4mの重さの60gと1mの重さが、それぞれ数直線のどこに当てはまるかを選ぶ」 [5年]
- ・算数A<sup>4</sup> (1) 「面積がそろっている㊦と㊧の二つのシートの混み具合について、正しいものを選ぶ」 [5年]
- ・算数A<sup>5</sup> (2) 「分度器の目盛りを読み、180°よりも大きい角の大きさを求める」 [4年]
- ・算数B<sup>1</sup> (2) 「一つの点の周りに集まった角の大きさの和が360°になっていることを、着目した図形とその角の大きさを基に書く」 [3、4、5年]
- ・算数B<sup>3</sup> (1) 「メモ1とメモ2は、それぞれ、グラフについてどのようなことに着目して書かれているのかを書く」 [3年]

中学校  
数学

第1学年の「数と式」「図形」「関数」に課題が見られる。特に第1学年での力の定着を大事にしたい。

- ・数学A<sup>1</sup> (2) 「絶対値の意味を理解している」 [1年]
- ・数学A<sup>2</sup> (1) 「数量の大小関係を不等式に表すことができる」 [1年]
- ・数学A<sup>5</sup> (4) 「四角錐の体積は、それと底面が合同で高さが等しい四角柱の体積の1/3であることを理解している」 [1年]
- ・数学A<sup>9</sup> (3) 「反比例について、グラフと表を関連付けて理解している」 [1年]
- ・数学B<sup>2</sup> (2) 「事柄が成り立つ理由を、構想を立てて説明することができる」 [2年]

小学校  
理科

「生命・地球」「物質・エネルギー」に関する事項、資料やイラストから情報を読み解く力に課題が見られる。

- ・理科<sup>3</sup> (4) 「目的の時間帯だけモーターを回すため、太陽の1日の位置の変化に合わせた箱の中での光電池の適切な位置や向きを選ぶ」 [3、4年]

中学校  
理科

「生物的領域」「化学的領域」で、自然事象についての知識・理解に課題が見られる。

- ・理科<sup>2</sup> (2) 「濃度が異なる食塩水のうち、特定の質量パーセント濃度(3.0%の濃度)のものを指摘できるかどうかをみる」 [1年]
- ・理科<sup>4</sup> (3) 「化学変化の前後で「原子の種類と数」は変化しないという知識と、化学変化を原子や分子のモデルで表す知識・技能を活用して、原子や分子のモデルで説明できるかどうかをみる」 [2年]
- ・理科<sup>5</sup> (1) 「神経系の働きについての知識を身に付けているかどうかをみる」 [2年]
- ・理科<sup>8</sup> (1) 「アルミニウムの原子の記号の表し方についての知識を身に付けているかどうかをみる」 [2年]

## 課題が見られた設問の例

### 小学校 国語 [3・4年] 【A 5】

【問】：部と一部とのつながりが合っていない文の番号を①から④までの中から一つ選んで書きましょう。また、部れもしつかりがんばりたいと思います。

【5】 大山さんは、春休みの出来事について文章を書いたあと、読み返して、部と一部とのつながりが合っていない文があることに気づきました。

次の「春休みの出来事の一部」をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【春休みの出来事の一部】

①ぼくは、校庭で野球の練習を毎日がんばりました。その努力は見事に実りました。②ぼくたちのチームは、地区大会で優勝したのです。③今年の春休みは、とてもじゆう実したのもとなりました。でも、反省して、道具の手入れをあまりしませんでした。これからは、練習だけではなく、用具の手入れもしつかりがんばりたいと思います。

文中の主語と述語、修飾と被修飾の関係を理解できていない誤答が4割以上と多い。文の構成の理解とともに、文中での語句の役割や語句相互の関係に気を付けて読み返す場を設定する等、文の組み立てについて理解できるようにする必要がある。

### 中学校 国語 [1年] 【A 8】六2】

【B】 次は、中国の「韓非子」という本にある話【A】と、その現代語訳【B】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【A】 竊載でまきせんので間厩野を参照してなさい。

【B】 楚の国の人で、盾と矛とを売るものがいた。その盾をほめて言うには、「私の盾の堅いこと」といつたら、突き通せるものはない。と。また、その矛をほめて言うには、「わたしの矛の鋭いこと」といつたら、どんなものでも突き通さないことはない。と。ある人が言うには、「あなたの矛で、あなたの盾を突き通したらどうなるか。」と。その人は答えることができなかった。

2 線部「とほざさるなし」を現代仮名遣いに直し、すべてひらがなで答えなさい。

誤答、無回答を合わせると4割以上が歴史的仮名遣いを正しく直して読むことができていない。古典の決まりや訓読の仕方を知り、古典や漢文を音読するなどともって古典の世界に触れることが大切である。

### 小学校 算数 [3年] 【B 3】(1)

【3】 しおりさんたちの学校は、「進んであいさつをする」と「本をよく読む」の2つのめあてに取り組んでいます。しおりさんたちは、7月と12月に、2つのめあてについて全校児童625人に対してアンケート調査をし、その結果を下のグラフに表しました。しおりさんは、グラフからわかることを2つのメモに書きました。

えりかさんとまさるさんは、しおりさんが書いたメモについて話し合っています。

メモ1を見ると「進んであいさつをする」のほうが人数が多いです。でも、メモ2を見ると「本をよく読む」のほうが人数が多いですね。

メモ1では、「進んであいさつをする」のほうが人数が多く、メモ2では、「本をよく読む」のほうが人数が多いのは、なぜですか。

メモ1とメモ2は、それぞれ、グラフについてちがうことに着目して書いているからです。

しおりさんが言うように、メモ1とメモ2は、それぞれ、グラフについてちがうことに着目して書かれています。

(1) メモ1とメモ2は、それぞれ、グラフについてどのようなことに着目して書かれていますか。それぞれ着目していることを、言葉や数を使って書きましょう。

解答類型を分析すると、それぞれのグラフについて着目しているところを答えなければならぬが、メモ1のみの記述が多い。また、無解答率も高くなっている。複数のグラフからのデータの読み取りや、情報とグラフを関連付けて読み取ること、それを自分の言葉で記述する等の学習活動を大切に扱う必要がある。

### 中学校 数学 [1年] 【B 2】(2)

【2】 次の図1のように、はじめの数として整数を入れて計算し、計算結果を求めます。

海斗さんは、はじめの数として○にいろいろな整数を入れて計算しています。例えば、はじめの数が5、6、-1のときは、それぞれどのような計算になりますか。

海斗さんは、上の調べたことから、はじめの数としてどんな整数を入れて計算しても、計算結果はいつも4の倍数になると予想しました。

「はじめの数としてどんな整数を入れて計算しても、計算結果はいつも4の倍数になる」という海斗さんの予想が成り立つことの説明を完成させなさい。

説明  
はじめの数として整数をnとすると、計算結果は  
(n-4) × 3 + n =

解答類型を分析すると、正解は約15%、文字式に表せているが説明不足もしくは誤りがあるものは約30%、文字式に誤りがあるものは約28%、無解答は約27%であった。まず、文字式で表現する力を養うこと徹底し、さらに文字式を使って説明する力をつけるために日々の授業で説明する機会を多く取り入れる必要がある。

### 小学校 理科 [6年] 【3】(4)

【3】(4) 午前1時ごろから午後3時ごろだけプロペラが回るようにするには、箱の中で光電池をどのようにおけばよいと考えられますか。下の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1 箱の中を上から見たようす

2 箱の中を上から見たようす

3 箱の中を上から見たようす

4 箱の中を上から見たようす

解答類型を分析すると、午後1時頃から午後3時頃までの間に太陽の位置を解答例1、2は南側、解答例3は南東側と捉えている。①乾電池や光電池でモーターを回すことができること、②一日の太陽の軌道、③太陽が箱の中の光電池にどのような状態に当たるか、4種類のイラストを論理的に分析する力が必要である。

### 中学校 理科 [3年] 【5】(1)

【5】 先生：ところで、バスの注意書きの～お客様へお願い～を見たことがありますか。なぜ話しかけてはいけないのでしょうか。

生徒：信号を見てブレーキを踏むのが遅れるからだだと思います。

先生：なるほど。

でも、信号を見てブレーキを踏むのが遅れることを確かめることはできません。

そこで、運転中の運転士に話しかけてはいけない理由を探究するために、「反応の時間を測定する装置」を使って確かめることができる実験を計画しましょう。

(1) 下線部の反応の経路を下のように示したとき、に適する語句を書きなさい。

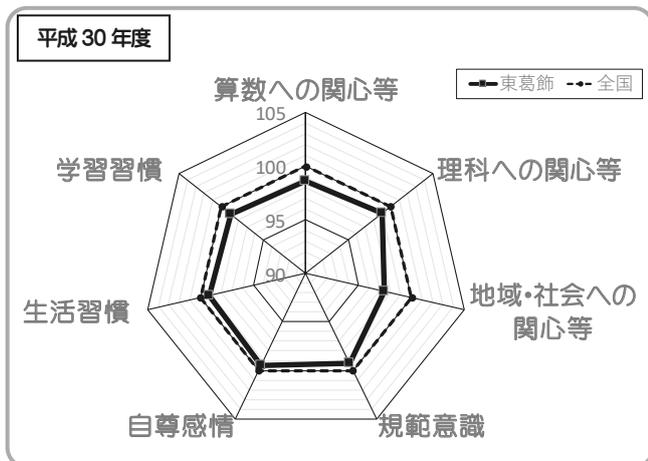
目 →  神経 → 脳・脊髄 → 運動神経 → 筋肉

解答類型を分析すると、正解は約4割であり、約2割は感覚器官と脳をつなぐ神経を中枢神経であると誤って捉えている。神経系の働きについての知識を身に付けていないと考えられるため、単発的な名称だけではなく、矢印を用いた図でまとめるなどして、総合的に理解が深まる取組が必要である。

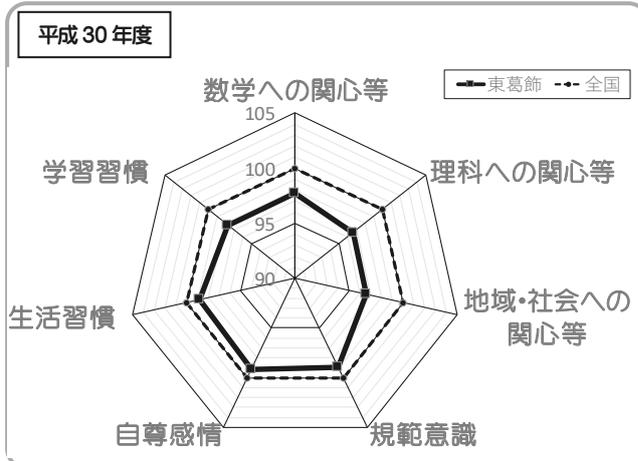
## 生活習慣や学習環境等について

全国平均を100としたときの指数で示している。

### 児童質問紙から



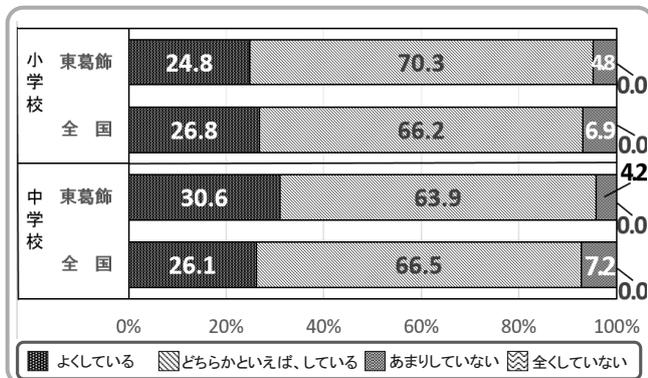
### 生徒質問紙から



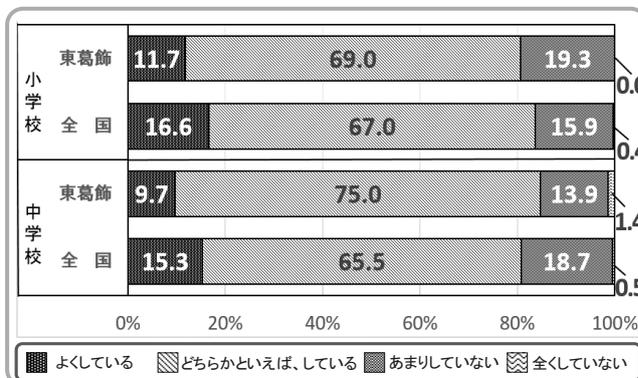
児童質問紙、生徒質問紙ともに、東葛の地区では全国と比べて全体的に低い傾向にある。特に、「地域・社会への関心等」が小学校、中学校ともに低い。また、児童質問紙に比べて生徒質問紙では各教科への関心が低下する傾向がある。教科の正答率とも合わせて考えると、特に中学校における理科への興味・関心を高める指導が求められる。

### 学校質問紙から 『主体的・対話的で深い学びの充実に向けて』

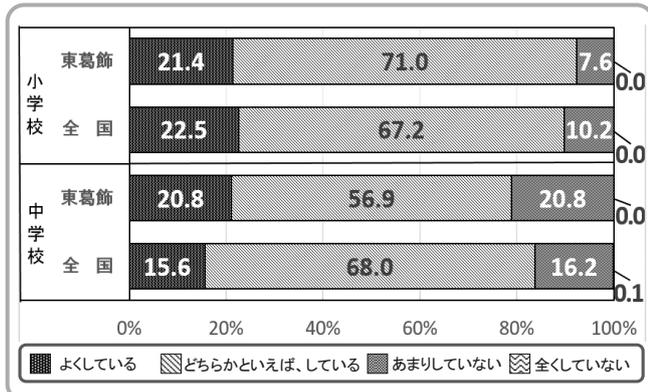
小22 中21 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をされましたか



小13 中13 調査対象学年の児童生徒は、自らが設定する課題や教員から設定される課題を理解して授業に取り組むことができていると思いますか



小26 中25 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか



・【小22・中21】の習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善への取組については「よくしている」「どちらかといえばしている」合わせて肯定的な回答が多い。

・【小13】の中では肯定的な回答が全国と比べて低くなっている。【中13】では肯定的な回答が全国と比べて高くなっている。小中とも「よくしている」の回答は全国より低い。

・【小26】では肯定的な回答が全国に比べて高くなっている。【中25】では「よくしている」が全国より高くなっているものの肯定的な回答は全国より低くなっている。

### 【松戸市立梨香台小学校】

#### <取組>

- 「わかるから楽しい学習指導のあり方（算数科の指導を通して）」  
四分位数による階層分布から分析を行い、上・下位層に対して以下の手立てを講じる。
- わかりやすい授業づくり 演習量の確保と工夫 わかる授業→わかるから楽しい授業へユニバーサルデザインの視点、板書やノート指導等の学習の流れを校内で統一
  - きめ細かな指導  
少人数指導教員、学習サポーターを活用 「あきらめない姿勢」と「できた実感」
  - 「梨の子ぐんぐん算数プリント」（ステップ学習教材）の開発と活用  
保護者ボランティア活用  
児童一人一人のつまずきに応じた学習教材を作成。課題がみられた学習内容までさかのぼり学び直すことで、意欲の向上とつまずき克服に向けた取組を実施。

#### <現状分析>

- 児童の授業に取り組む姿の変化、教員の授業研究に向き合う積極性に向上が見られた。

### 【柏市立風早北部小学校】

#### <課題分析>

- 記述式の課題について「自分の言葉でまとめる力」「誤答と無解答率」に着目。  
基礎・基本の定着・一つの課題にじっくり取り組む学習習慣  
→「課題に対し、最後まであきらめずにやり抜く力」を焦点化

#### <取組>

- 学習指導案に「困難度査定（子どものつまずき）」と「つまずきに対する具体的な手立て」を記載。児童一人一人の学習状況に応じた手立てを講じる。
  - 『つなげる』学び～「教えて考えさせる授業」における『つなげる』を意識した研究を通して～
    - ・『つなげる』学びとは ・未習と既習をつなげる・人をつなげる・学びと社会をつなげる
    - ・『教えて考えさせる授業』とは 「教えること（教師が教える場面）」「考えさせること（児童が考える場面）」の明確化 習得と探究のバランス
- 「理解確認」は、児童が互いの理解を共有し、認め合う場。  
「理解深化」で、学びに対する必要感（伝えたい、表現したい）が強く持てる課題を解く。  
「自己評価」により子どものメタ認知を促す。

### 【我孫子市立湖北中学校】

#### <課題の分析から 学習習慣の定着と新学習指導要領に対応した学力の向上>

- 基礎的・基本的な学力の定着に課題がある。
- 全国学力・学習状況調査の結果から、「自分の考えを相手に伝える」・「自ら課題を設定する」等の主体的な学びや話し合い活動等の対話的な学びを苦手とする生徒が多い。

以上の2点が主な課題であることが分かった。そこで、研究テーマ「学び合いを通して主体的に課題を解決する生徒を育成し、学力向上に繋げる」～ケアのある学びを通して～と設定し、全授業・全学級で授業改善を主とし研究を進めてきた。

- \*ケアのある学び・・・他者の声を聴こうとする姿勢、相手を思いやり、互いに尋ね合える人間関係の構築を根幹とし、授業への参加意識を学習意欲の向上へと結びつける学び

#### <取組>

- 授業における小集団の活用と学び合い活動の推進（授業改善）
- 主体的・対話的な学びに基づいた校内研修の活性化
- 「Kタイム」（10分間の朝学習）による基礎・基本の徹底
- 「ワンデーワンページ」による家庭学習の習慣化

### (3) 北 総 地 区

## 教科についての傾向と課題

- \*例示した設問や出題の趣旨等は、以下のうち、特徴的なものである。  
○正答率が全国と比べて低いもの  
○正答率そのものが低いもの  
\* [ ] 内の学年は、学習学年を示している。

#### 小学校 国語

「話すこと・聞くこと(A問題)」の領域は前年度より上昇しており、「短答式」の問題形式が前年度より低下している。

- ・国語A<sup>5</sup> 「文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書く」 [3、4年]
- ・国語A<sup>8</sup> オ 「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う」 [5、6年]
- ・国語B<sup>1</sup> 一 「話し合いの参加者として、質問の意図を捉える」 [5、6年]
- ・国語B<sup>1</sup> 三 「話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる」 [5、6年]

#### 中学校・国語

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(A問題)」の領域は前年度より上昇しており、「書くこと」の領域が前年度より低下している。

- ・国語A<sup>8</sup> 一 1 「文脈に即して漢字を正しく書く(紙をひもでタバねる)」 [2年]
- ・国語A<sup>8</sup> 五 「行書の基礎的な書き方を理解して書く」 [1年]
- ・国語A<sup>8</sup> 六 2 「歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む」 [1年]
- ・国語B<sup>2</sup> 三 「全体と部分との関係に注意して相手の反応を踏まえながら話す」 [1年]

#### 小学校 算数

「数量関係(A問題)」の領域は前年度よりやや上昇しており、「量と測定」の領域が前年度より低下している。

- ・算数A<sup>4</sup> (1) 「面積がそろっている⑦と⑧の二つのシートの混み具合について、正しいものを選ぶ」 [5年]
- ・算数A<sup>7</sup> (1) 「円周率を求める式として正しいものを選ぶ」 [3、5年]
- ・算数B<sup>1</sup> (2) 「一つの点の周りに集まった角の大きさの和が360°になっていることを、着目した図形とその大きさの角の大きさを基に書く」 [3、4、5年]
- ・算数B<sup>4</sup> (2) 「横に並んでいる七つの数について、示された表現方法を適用して書く」 [2、4年]

#### 中学校 数学

「数と式」の領域に課題が見られるが、「記述式」の問題形式が前年度よりやや上昇している。

- ・数学A<sup>1</sup> (2) 「絶対値が6である数を書く」 [1年]
- ・数学A<sup>2</sup> (1) 「【1個a kgの荷物3個と1個b kgの荷物4個の全体の重さは15kg以上である】という数量の関係を表した不等式を書く」 [1年]
- ・数学A<sup>5</sup> (4) 「底面の四角形が合同で高さが等しい四角柱と四角錐の体積の関係について、正しいものを選ぶ」 [1年]

#### 小学校 理科

「『知識』に関する問題」は前回(H27)と同程度であり、「記述式」の問題形式が前回(H27)より大きく低下している。

- ・理科<sup>2</sup> (2) 「土地の侵食について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想できるかどうかをみる」 [5年]
- ・理科<sup>2</sup> (3) 「大雨が降って流れる水の量が増えたときの地面の削られ方について、実験結果を分基に析して考察し、その内容を記述する」 [5年]
- ・理科<sup>3</sup> (2) 「電流の流れ方について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想できるかどうかをみる」 [4年]

#### 中学校 理科

「『活用』に関する問題」は前回(H27)より上昇しており、「『知識』に関する問題」が前回(H27)より低下している。

- ・理科<sup>2</sup> (2) 3.0%の濃度「濃度が異なる食塩水のうち、特定の質量パーセント濃度のものを指摘できる」 [1年]
- ・理科<sup>4</sup> (3) 「ガスバーナーの炎が赤いときの化学変化を表したモデルを検討して改善し、原子や分子のモデルで説明できる」 [2年]
- ・理科<sup>5</sup> (1) 「神経系の働きについての知識を身につけているかどうかをみる」 [2年]

## 課題が見られた設問の例

### 小学校 国語 [3・4年] 【A 5】

主語と述語が適切な係り受けになっていることが、伝えたいことを正確に伝える上で重要であることに気が付かせるため、主語と述語の関係に注意しながら読みだり書いたりする習慣を身に付けさせること。

(問い) ……部と…部とのつながりが合っていない部分の番号を①から④までの中から一つ選んで書きましょう。また、…部はそのままにして、文の意味が変わらないように、選んだ文を正しく書き直しましょう。

①ぼくは、校庭で野球の練習を毎日がんばりました。その努力は見事に実りました。②ぼくたちのチームは、地区大会で優勝したのです。③今年の春休みは、とてもじゅう実したものでした。でも、反省していることもあります。④反省点は、用具の手入れをあまりしませんでした。これからは、練習だけでなく、用具の手入れもしっかりがんばりたいと思います。

⑤ 大山さんは、春休みの出来事について文章を書いたあと、読み返して、…部と…部とのつながりが合っていない文があることに気づきました。次の「春休みの出来事の一部」をよく読んで後の(問い)に答えましょう。

### 中学校 国語 [1年] 【A 8】六(二)

⑧ 次は、中国の「韓非子」という本にある話【A】と、その現代語訳【B】です。

これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【A】 魯載でござんので問用紙を参照してください。

【B】 竹内照志「新釈漢文大系 第12巻 韓非子(下)」による。

楚の国の人で、盾と矛とを売る者がいた。その盾をほめて言うには、「わたしの盾の堅いこといってたら、突き通せるものはない。」と。また、その矛をほめて言うには、「わたしの矛の鋭いこといってたら、どんなものでも突き通さないことはない。」と。ある人が言うには、「あなたの矛で、あなたの盾を突き通したらどうなるか。」と。その人は答えることができなかった。

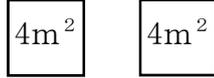
② 線部「とほざざるなし」を現代仮名遣いに直し、すべてひらがなで答えなさい。

文語のままりについては、言葉の意味を考えながら音読したり、音読を聞いたりすることを通して古典特有のリズムを味わいながら理解させること。

### 小学校 算数 [5年] 【A 4】(1)

④ こみぐあいについて、次の問題に答えましょう。

(1) ⑦と⑧の2つのシートがあります。⑦と⑧のシートの面積は、同じです。



次の表は、シートの上にすわっている人数とシートの面積を示しています。

表から、こみぐあいについてどのようなことがわかりますか。下の1から3までの中から1つ選んでその番号を書きましょう。

	人数(人)	面積(m <sup>2</sup> )
⑦	6	4
⑧	9	4

- ⑦のほうがこんでいる。
- ⑧のほうがこんでいる。
- どちらもこみぐあいは同じである。

混み具合については、面積がそろってれば、人数の大小で混み具合を比べることができることなどを、実感的に理解できること。また、人数は変えずに面積を広くしていき、広くなるにつれて、混み具合が変わることを実感できるようにすること。

### 中学校 数学 [1年] 【A 1】(2)・A 2】(1)

① 次の(1)から(4)までの各問いに答えなさい。

(2) 絶対値が6である数をすべて書きなさい。

② 次の(1)から(4)までの各問いに答えなさい。

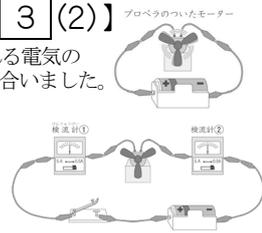
(1) 「1個  $a$  kg の荷物3個と1個  $b$  kg の荷物4個の全体の重さは15kg以上である」という数量の関係を、不等式で表しなさい。

数直線上における原点からの距離が絶対値であることを理解できるように指導すること。

1個  $a$  kg の荷物3個の重さを  $3a$ 、1個  $b$  kg の荷物4個の重さを  $4b$ 、荷物全体の重さを  $3a+4b$  と表現し、その重さが15kg以上であることから、 $3a+4b \geq 15$  または  $15$  より大きいと捉え、このことを不等号を用いて  $3a+4b \geq 15$  と表せるように指導すること。

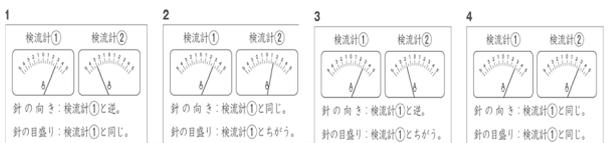
### 小学校 理科 [4年] 【3】(2)

③ ひろしさんたちは、図の回路を流れる電気がながれ方について予想したことを話し合いました。



ひろしさんたちは、予想を確かめるために、2つの検流計を使って、図の回路で実験することにしました。

(2) やす子さんの予想が正しければ、検流計①の針が右に動いて3の目盛りを指したときに、検流計②の針はどのようになると考えられますか。1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。



実験結果の見通しを伴った解決の方向性を構想できるようにするために、自らの予想や仮説を基に実験計画を立案し、実験を行う前に、予想が確かめられた場合に得られる実験結果を見通すこと。

### 中学校 理科 [2年] 【4】(3)

④ 科学部の雪子さんは、図書便りに紹介されていたファラデーの「ろうそくの科学」を読んで、科学的に探究してレポートにまとめました。

#### 化学変化を原子や分子のモデルで表す

【理科で学習したこと】

化学反応式のつくり方  
化学変化の前後で、原子の種類と原子の数は変化しない。

【インターネットで調べたこと】

ガスバーナーのガスの主な成分  
プロパンという炭素の化合物(化学式は  $C_3H_8$ )である。

プロパンの燃焼

酸素が十分あるときには、主に二酸化炭素と水が生じる

【炎が青い(酸素が十分にある)ときの化学変化】

酸素分子を5個にすると、化学変化の前後で原子の種類と数が合った。



【炎が赤い(酸素が十分にある)ときの化学変化】

酸素分子を1個にすると、化学変化の前後で原子の種類は合ったが、原子の数が合わなかった



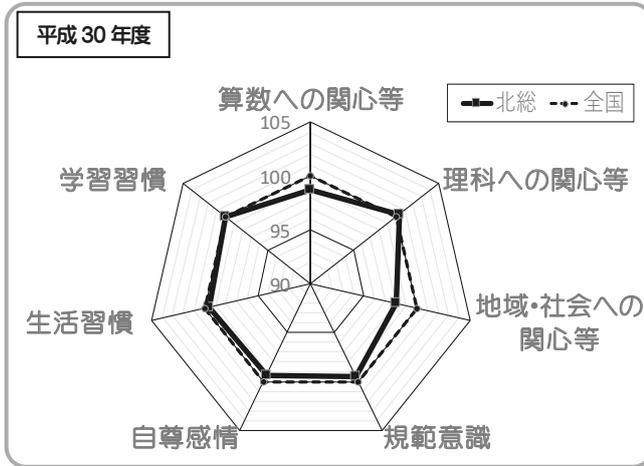
(3) 雪子さんは、「化学反応式のつくり方」をもとに、【炎が赤い(酸素が不足している)ときの化学変化】を見直して「...」の中のモデルを修正しました。修正したモデルを書きなさい。

プロパンの燃焼を取り上げる場合は、あらかじめプロパンの燃焼に関する情報を提示し、化学変化に関する知識・技能を活用することに重点を置くようにすること。

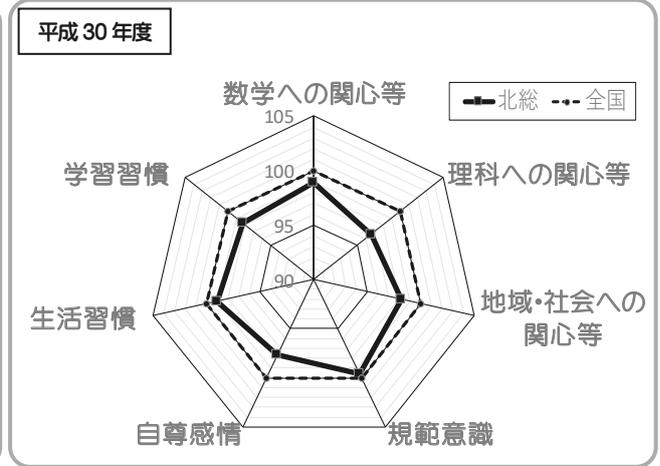
## 生活習慣や学習環境等について

\*チャート図は、全国平均を100としたときの指数で示している。

### 児童質問紙から



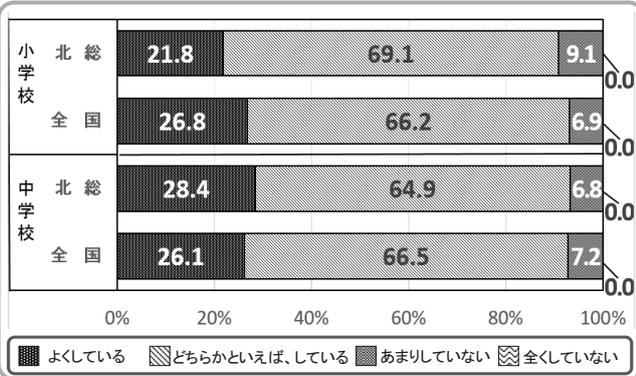
### 生徒質問紙から



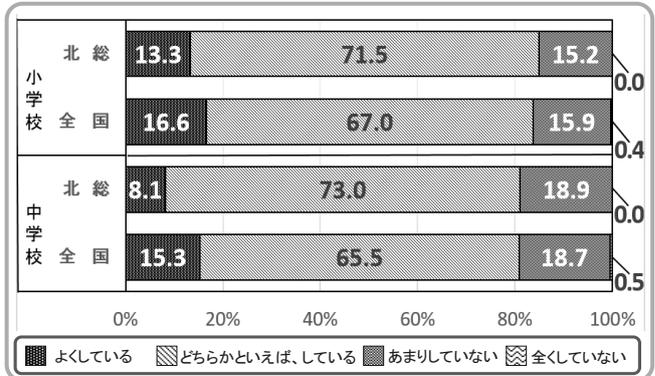
「算数・数学への関心等」については、児童生徒とも全国と比べてやや低い傾向にある。小学校算数では、「算数の重要性【28】」「算数の学習内容の理解【29】」について、全国に比べて大きく下回っている。算数を学習する楽しさを感じさせることや個に応じた指導を心がけることが学力向上につながると考えられる。中学校理科では、「観察や実験への意欲【47】」が全国に比べ下回っている。生徒の意欲を喚起できるような授業づくりが求められる。

### 学校質問紙から 『主体的・対話的で深い学びの充実に向けて』

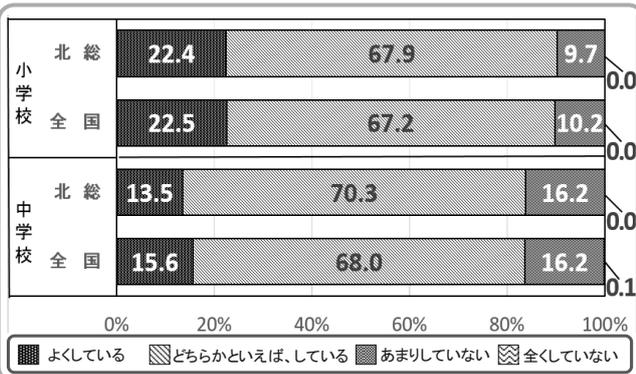
小22 中21 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか



小13 中13 調査対象学年の児童生徒は、自らが設定する課題や教員から設定される課題を理解して授業に取り組むことができていると思いますか



小26 中25 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか



肯定的回答の割合は、

- ・【小22・中21】の項目では、小学校は全国と比べて「よくしている」がやや低く、中学校はやや高い傾向にある。
- ・【小13・中13】の項目では、小学校は全国に比べて「よくしている」がやや低く、中学校は低い傾向にある。
- ・【小26・中25】の項目では、小中学校とも全国と同程度の傾向にある。中学校は「よくしている」がやや低い傾向にある。

### 【多古町立多古中学校】

#### 1 生徒の実態

本校の過去3年間の全国学力・学習状況調査結果から、国語・数学ともに「記述式において無解答が多い。」ことが課題の一つに見られた。

#### 2 実際の取組

- 「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラムを取り入れた授業実践研究
  - ・国語科…問題解決を図る学習過程の中で思考力・判断力・表現力を高めるために、単元を貫く言語活動として「新聞の投書を書く」という単元を構成し、グループでの対話を用いた授業を行った。生徒は、自分の考えをもつ、交流する、考えを再構築し表現するという活動をする中で、自分自身の考え（表現）が深まるという体験をした。
  - ・数学科…自力解決後のグループでの学び合いやICT機器（タブレット、電子黒板）を活用して考えを表現させたり、生徒のつぶやきや発表を引き出したりすることを学習過程に適切に位置付け、図と言葉、数式を関連付けさせた。

#### 3 生徒の変容（平成27～29年度 全国学力・学習状況調査生徒質問紙の結果から）

- ・「学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか。」といった「書く」活動の回答が、年を追って改善された。
- ・「1、2年生のときに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか。」といった「思考し、表現する力」に対する肯定的な回答が、年を追って増加している。

#### 4 取組のまとめ

- ・教科部会を定期的に行い、実践モデルプログラムについて研修を進めた。その結果、授業での話し合い活動の充実や自分で筋道を立て課題を解決していこうとする力の育成につながっている。
- ・書くことに抵抗を感じる生徒は減少しているが、今後も教科研修や全体研修などをおして、「思考し、表現する力」の育成を目指した授業改善に努めたい。

### 【銚子市立明神小学校】

- ・全国学力・学習状況調査結果の設問ごとに分析を行い、自校の傾向や課題を経年にわたり把握した。課題が見られた設問から考えられるつまずきや手立てを複数考え、全教職員共通理解の下、学習指導に当たった。
- ・読書活動でお気に入りの本を紹介したり、調べた情報を活用して本にまとめたりするなど付きたい力を明確にし、文章を読む目的を設定し、児童の主体的に読む態度を促した。また、複数の本や新聞を同時に読み進め、文章を要約する活動を取り入れたことで、多様な文章を読み深める力の向上が見られた。

### 【八街市立笹引小学校】

- ・全国学力・学習状況調査結果を調査対象学年だけの課題としてとらえるのではなく、学校全体の課題としてとらえるために、学力向上委員会を設立し児童の学習状況や学力向上に向けた取組状況の把握に努めた。
- ・算数科の授業で少人数指導を実施。学習内容の見通しを児童にもたせ、児童自らコースを選択できるようにした。
- ・火曜日の6校時に5、6年生を対象に算数補習を実施している。全職員で5、6年生の指導にあたる時間を設定している。本年度より、算数の領域ごとにコースを設定し、児童が苦手と感じている領域を児童自らが選択できるようにした。その結果、学習に積極的に取り組む姿が多く見られた。

(4) 東上総地区

教科についての傾向と課題

\*例示した設問や出題の趣旨等は、以下のうち、特徴的なものである。  
○正答率が全国と比べて低いもの  
○正答率そのものが低いもの  
\* [ ] 内の学年は、学習学年を示している。

小学校  
国語

- 「話すこと・聞くこと」の領域は前年度より上昇しており、「書くこと」の領域が前年度より低下している。
- ・国語A<sup>2</sup> 「物語を書くときの構成の工夫の説明として適切なものを選択する」 [5、6年]
  - ・国語A<sup>5</sup> 「【春休みの出来事の一部】の中で、点線部と傍線部とのつながりが合っていない文を選択し、正しく書き直す」 [3、4年]
  - ・国語B<sup>1</sup> 三 「これから言葉をどのように使っていきたいかについて、北川さん、小池さんのいずれかの意見を取り上げて書く」 [5、6年]

中学校  
国語

- 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は前年度より上昇しているが、目的や場に応じて伝えたい内容や考えを書いたり話したりすることに課題が見られる。
- ・国語A<sup>8</sup> 一 2 「漢字を書く（舞台のマクが上がる）」 [2年]
  - ・国語A<sup>8</sup> 四 2 「「心を打たれた。」を文末に用いた一文を、主語を明らかにし、「誰（何）」の「どのようなこと」に「心を打たれた」のかが分かるように書く」 [2年]
  - ・国語B<sup>1</sup> 三 「「天地無用」という言葉を誤った意味で解釈してしまう人がいる理由を書く」 [1、2年]
  - ・国語B<sup>2</sup> 三 「ロボットに期待することを述べて発表をまとめる際の話の進め方として適切なものを選択する」 [1年]

小学校  
算数

- 「数と計算」の領域は前年度より上昇したが、「量と測定」「図形」の領域が前年度より低下している。
- ・算数A<sup>1</sup> (2) 「針金0.4mと0.4mの重さの60gと1mの重さ□gが、それぞれ数直線上のどこに当てはまるか、選ぶ」 [5年]
  - ・算数A<sup>4</sup> (2) 「二つのシートの混み具合を比べる式の意味について、正しいものを選ぶ」 [5年]
  - ・算数B<sup>1</sup> (1) 「合同な正三角形で敷き詰められた模様の中から見いだすことのできる図形として正しいものを選ぶ」 [2、3、4、5年]
  - ・算数B<sup>1</sup> (2) 「一つの円の周りに集まった角の大きさの和が360°になっていることを、着目した図形とその角の大きさを基に書く」 [3、4、5年]

中学校  
数学

- 「数学的な技能」の観点では前年度より上昇したが、「数と式」「関数」、「図形」の領域は引き続き課題がある。
- ・数学A<sup>2</sup> (1) 「『1個akgの荷物3個と1個bkgの荷物4個の全体の重さは15kg以上である』という数量の関係を表した不等式を書く」 [1年]
  - ・数学A<sup>5</sup> (4) 「底面の四角形が合同で高さが等しい四角柱と四角錐の体積の関係」 [1年]
  - ・数学A<sup>9</sup> (2) 「比例のグラフから、xの変域に対応するyの変域を求める」 [1年]
  - ・数学B<sup>2</sup> (2) 「はじめの数としてどんな整数を入れて計算しても、計算結果はいつでも4の倍数になる説明を完成する」 [2年]

小学校  
理科

- 「観察、実験の技能」、「自然事象についての知識・理解」で、全国平均を大きく上回ったが、「記述式」の問題形式に課題が見られる。
- ・理科<sup>2</sup> (2) 「流れる水のはたらきによる土地の浸食について、じぶんの考えと異なる他者の予想を元に斜面地に水を流した時の地面の削られ方を選び、選んだ理由を書く」 [5年]
  - ・理科<sup>2</sup> (3) 「一度に流す水の量と棒の様子との関係から、大雨が降って流れる水の量が増えた時の地面の削られ方を選んだわけを書く」 [5年]

中学校  
理科

- すべての分野、観点、問題形式で、全国平均を下回り、特に「記述式」の問題形式に課題が見られる。
- ・理科<sup>4</sup> (3) 「実験器具の操作や化学変化と原子・分子、条件制御の知識・理解の活用ができるどうか」 [2年]
  - ・理科<sup>6</sup> (2) 「実験の結果を示した表から電流の値を読み取ることができる」 [2年]
  - ・理科<sup>7</sup> (1) 「地震の揺れの伝わり方や光や音の伝わり方に関する知識、技能を活用することができるかどうか」 [1年]

## 課題が見られた設問の例

小学校 国語 [3・4年] 【A 5】

⑤ 大山さんは、春休みの出来事について文章を書いたあと、読み返して……部と……部とのつながりが合っていない文があることに気づきました。次の「春休みの出来事の一部」をよく読んで後の(問い)に答えましょう。

【春休みの出来事の一部】  
文のはじめにある字は、その文の首を示しています。  
①ほくは、校庭で野球の練習を毎日がんばりました。その努力は見事に実りました。②ほくは、たけのこ、ひまわり、地獄大会で優勝したのです。③今年の春休みは、とてもじゆう実したものでした。でも、反省していることもあります。④反省点は、用具の手入れをあまりしませんでした。これからは、練習だけでなく、用具の手入れもしっかりがんばりたいと思います。

(問い)……部と……部とのつながりが合っていない文の番号を①から④までの中から一つ選んで書きましょう。また……部はそのままにして、文の意味が変わらないように、選んだ文を正しく書き直しましょう。

主語と述語が適切な係り受けになっていないことが、伝えたいことを正確に伝える上で重要であることに気が付かせるため、主語と述語の関係に注意しながら読み直したり書いたりする習慣を身に付けさせること。

中学校 国語 [2年] 【A 8 四(2)】

⑧ 四 次の各問に答えなさい。

1 次の言葉の意味として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。  
心を打たれる

1 遠慮する。  
2 感動する。  
3 一つのこと集中する。  
4 あれこれ心配する。

〇2 「心を打たれた。」を文末に用いた一文を書きなさい。なお、「心を打たれた」の主語を明らかにした上で、「誰(何)の「どのようなこと」に「心を打たれた」のかがわかるように書くこと。

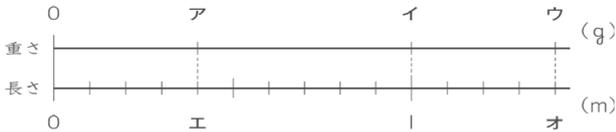
文を書く際には、文の成分の順序や主語と述語の照応などを整え、伝えたいことが相手に適切に伝わるように書くことができるかを常に吟味するように指導すること。

小学校 算数 [5年] 【A 1 (2)】

① 0.4mの重さが60gの針金があります。この針金について、次の問題に答えましょう。

(2) 針金1mの重さが何gになるかを考えます。1mの重さを□gとして、針金の長さ(0.4)と重さ(60)の関係を表します。針金0.4mの「0.4」、0.4mの重さ60gの「60」、1mの重さ□gの「□」のそれぞれの場所は、下の図のどこになりますか。

アからオまでの中から、あてはまるものを1つずつ選んで、その記号を書きましょう。



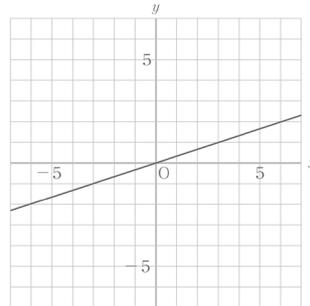
数直線上の数量の対応関係や大小関係を的確に捉えることができるようにすること。

中学校 数学 [1年] 【A 9 (2)】

⑨ 次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

(2) 次の図の直線は、比例のグラフを表しています。xの変域が  $3 \leq x \leq 6$  はどのようになりますか。下のそれぞれの□に当てはまる数を求めなさい。

$\square \leq y \leq \square$



xの変域の端点に対応するy座標を求めたり、グラフを用いて変域を視覚的に捉えたりする活動を取り入れ、与えられたxの変域からそれに対応するyの変域を求めることができるように指導すること。

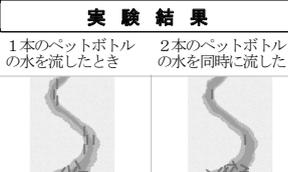
小学校 理科 [5年] 【2 (3)】(説明略)

②(3) 実験結果から、川を流れる水の量が増えると、川の曲がっているところの外側と内側の地面のけずられ方は、どのようにになると考えられますか。下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだわけを実験結果の「水の量」と「棒のようす」がわかるようにして書きましょう。

**水の量を変えた実験**

○地面のけずられ方について詳しく調べるために、みぞの曲がっているところの外側と内側に3本ずつ棒を立てる。

○1本のペットボトルの水を流したときと、2本のペットボトルの水を同時に流したときの様子調べる



### 実験結果

1本のペットボトルの水を流したとき 2本のペットボトルの水を同時に流した

- 1 外側も内側もけずられる。
- 2 外側も内側もけずられない。
- 3 外側だけがけずられる。
- 4 内側だけがけずられる。

実験結果を基に分析して考察し、その内容を記述できるようにするためには、観察や実験の結果を基に「事実」と「解釈」の両方を示しながら、説明できるようにすること。

中学校 理科 [1年] 【7 (1)】

⑦ 「緊急地震速報による避難訓練」の後、理科の授業で地震の学習を行い、科学的に探究しました。

(1) 地震の揺れの強さを何と言いますか。また、S波による揺れを何と言いますか。それぞれア、イから1つ選びなさい。



- 地震の揺れの強さ
- ア マグニチュード
  - イ 震度
- S波による揺れ
- ア 初期微動
  - イ 主要動

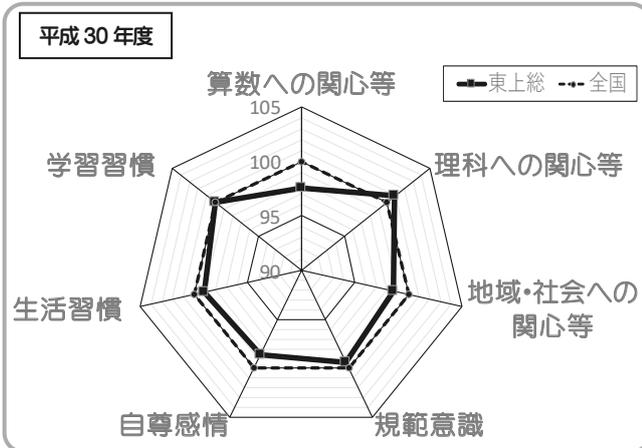
緊急地震速報は、震源に近い地震計でP波をとらえ、S波による強い揺れが起こる可能性があることを一斉に知らせる仕組みです。

身に付けた地震に関する知識が活用されている例として緊急地震速報を取り上げ、その仕組みについて調べたり発表したりすることを通して、理科を学ぶことの意義や有用性を実感できるようにすること。

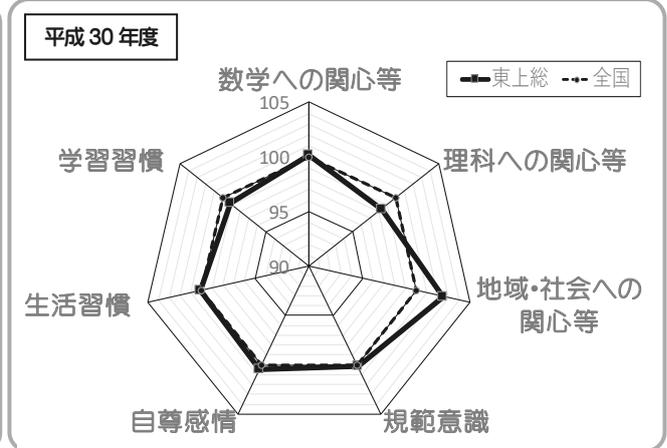
## 生活習慣や学習環境等について

\*チャート図は、全国平均を100としたときの指数で示している。

### 児童質問紙から



### 生徒質問紙から

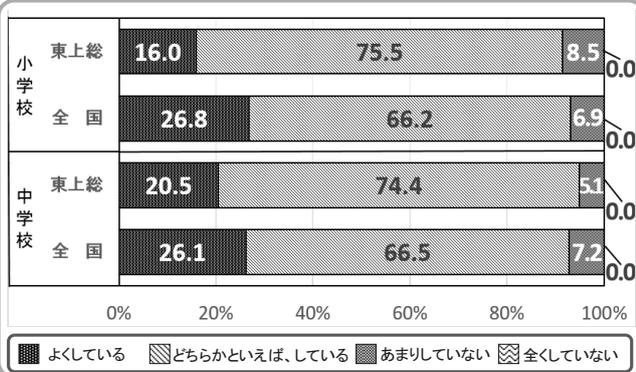


小学校算数では、「学習意欲【27】【30】」が全国に比べて下回っている。また、「算数の学習内容の理解【29】」も全国に比べて下回っている。児童の興味関心を引き出す授業づくりや児童一人一人の習熟状況に応じた、きめ細やかな指導が求められる。中学校理科では、「学習意欲【38】」「観察実験に対する関心【47】」が全国に比べて下回っている。小学校算数同様に、生徒の意欲を喚起する授業づくりが求められる。

### 学校質問紙から 『主体的・対話的で深い学びの充実に向けて』

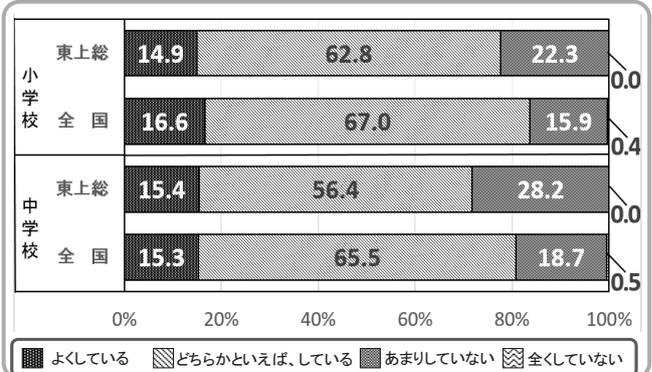
小22  
中21

調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をされましたか



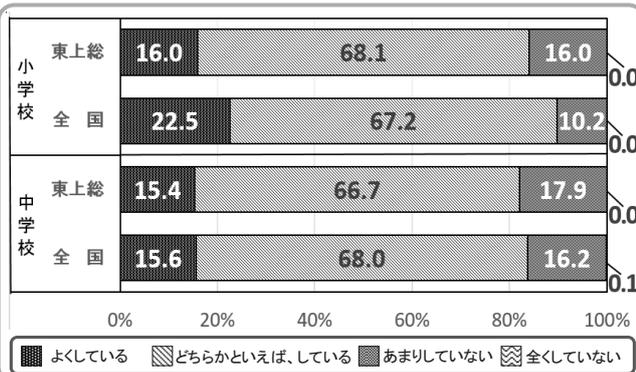
小13  
中13

調査対象学年の児童生徒は、自らが設定する課題や教員から設定される課題を理解して授業に取り組むことができていると思いますか



小26  
中25

調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか



【小22・中21】の項目では、「よくしている」の割合が小・中学校ともに全国と比べて低い。

【小13・中13】の項目では、小・中学校ともに肯定的回答の割合が全国と比べて低い。

【小26・中25】の項目では、小学校では肯定的回答の割合が全国と比べて低く、中学校では同程度である。

【大多喜町立大多喜中学校】

- ① 学校独自の取組
  - ・サク作タイムの実施 隔週の朝自習の時間に全校で作文活動に取り組んでいる。
- ② 授業改善に関わる取組
  - ・黒板掲示の工夫・・・「学習課題」「ポイント」「まとめ」等の掲示
  - ・ホワイトボードを活用したペアやグループでの学び合い、教え合い、伝え合い学習
  - ・話し合いの前に個人で考える時間を設定。自力解決を促し学習に対する主体性を育成
- ③ 学力向上に向けた組織づくり
  - ・学力向上推進委員会の設置
    - 教科・領域部会・・・学力向上に向けた実践、評価
    - 調査推進委員会・・・調査集計及び分析ツールを用いて生徒の課題や傾向の把握

【横芝光町立東陽小学校】

- ① 授業改善に関わる取組
  - ・東陽小学校学びのプロセス（県の施策『『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム）を基に、主に国語・算数科で学習過程を構成
    - 国語→授業中、考える時間を確保し、自分の考えを書いたり、話したりする力を伸ばす。
    - 算数→授業中、記述力を高めるために自分の考えや説明を書くことに取り組んでいる。
      - 「まとめあげる場面（算数科例）」
      - 「わ・た・が・し」→「わかったこと」「たのしかったこと」「がんばったこと」
      - 「しりたくなったこと」を視点に、学んだことを記述させる。
- ② 学校独自の取組
  - ・職員の専門性や特性を生かした校内研修体制の構築
  - ・学級経営の充実（教師と児童及び児童相互の信頼関係の構築）
  - ・視写チャレンジ
  - ・学校行事の感想文を書く。
- ③ ちばっ子「学力向上」総合プランの活用
  - ・ちばっ子チャレンジ100の活用
    - 朝のドリルタイムで算数（火曜日）、国語（木曜日）を行う。
  - ・学びの突破口ガイドの活用（一覧表を使って、活用したページを記録）
- ④ 家庭との連携
  - ・「学習便り」の発行
    - 漢字や式の書き方など、児童がつまずきやすい学習内容を中心に保護者に周知

【長生村立長生中学校】

- ① 授業力向上
  - ・相互授業参観の実施（月1回以上、年間を通して実施）
  - ・生徒による授業評価を実施し、調査結果を基に課題を共有し、授業改善に向けて職員全体で共有。
- ② 主体的学習態度の育成
  - ・個に応じた指導の充実（学習相談、夏季補充学習、学習指導支援員や特別支援教育介助員の活用と重点的配置）
  - ・ノートやレポート指導を中心としたまとめや整理能力の育成
  - ・自己評価カードを活用した振り返りの時間を全教科、全時間で行い学びの自覚化を図る。また、生徒の実態把握に努め、次時の指導につなぐ。

(5) 南房総地区

教科についての傾向と課題

\*例示した設問や出題の趣旨等は、以下のうち、特徴的なものである。  
 ○正答率が全国と比べて低いもの  
 ○正答率そのものが低いもの  
 \* [ ] 内の学年は、学習学年を示している。

小学校  
国語

「書くこと」領域が全国を下回っている。「話すこと・聞くこと」領域に関連する記述式が低下している。「活用(B問題)」において、記述式の正答率が全国を下回っている。

- ・国語A<sup>2</sup> 「宝物を探す物語を創作する 文章全体の効果を考える」 [5、6年]
- ・国語A<sup>7</sup> 「敬語を使う 相手や場面に応じて適切に敬語を使う」 [5、6年]
- ・国語B<sup>1</sup> 三 「言葉の使い方を見直すために話し合う」 [5、6年]
- ・国語B<sup>2</sup> 三 「献立を推薦する文章を書く」 [5、6年]

中学校  
・国語

「書くこと」領域が全国を下回っている。また、「活用(B問題)」では、「話すこと・聞くこと」領域で課題がある。記述式の正答率が前年度より向上したが、全国を下回っている。

- ・国語A<sup>2</sup> 二 「伝えたい事実や事柄を相手にわかりやすく伝えるように書く」 [2年]
- ・国語A<sup>5</sup> 一 「説明的な文章を読む 段落が文章全体の中で果たす役割を捉える」 [2年]
- ・国語A<sup>8</sup> 六 2 「歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む」 [1年]
- ・国語B<sup>2</sup> 三 「ロボットについて資料を作成して発表する」 [1年]

小学校  
算数

「活用(B問題)」に課題が見られる。特に「記述式」の問題形式は前年度より向上しているが、全国を下回っている。

- ・算数A<sup>1</sup> (2) 「2つの数量の関係を理解し、数直線上に表す」 [5年]
- ・算数A<sup>2</sup> 「小数の除法の意味について理解し、それを適切に用いる」 [3、4、5年]
- ・算数B<sup>1</sup> (1) 「図形の性質を基に観察し、条件に合う図形を見出す」 [3、4年]
- ・算数B<sup>1</sup> (2) 「模様の中から図形を見出し、集まった角の和が $360^\circ$ になる理由を言葉や式を用いて記述する」 [3、4、5年]

中学校  
数学

「活用(B問題)」に課題が見られる。特に「記述式」の問題形式は前年度より向上しているが、全国を大きく下回っている。

- ・数学A<sup>2</sup> (1) 「数量の関係を文字を用いて、不等式に表す」 [1年]
- ・数学B<sup>2</sup> (2) 「事柄が成り立つ理由を、文字式を使って関係をとらえ説明する」 [2年]
- ・数学B<sup>4</sup> (2) 「(1)の問題を基に条件が変わっても、平行四辺形の性質を使って論理的に考察し表現する」 [2年]

小学校  
理科

「短答式」の問題形式は、全国を上回っているが、「記述式」の問題形式では、全国を下回っている。

- ・理科<sup>2</sup> (3) 「実験結果を基に分析して考察し、その内容を記述する」 [5年]
- ・理科<sup>2</sup> (4) 「複数の情報を関連付けながら、分析して考察する」 [5年]
- ・理科<sup>3</sup> (2) (3) 「電流の流れ方について、予測が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想できたり、実験結果から電流の流れ方について、より妥当な考えに改善する」 [4年]

中学校  
理科

平均正答率が全国を下回っている。特に「記述式」の問題形式は、全国を大きく下回っている。

- ・理科<sup>4</sup> (3) 「化学変化の前後の知識・技能を活用して化学変化を表したモデルを検討して改善し、原子や分子のモデルを説明する」 [2年]
- ・理科<sup>6</sup> (2) (3) 「LEDが豆電球に比べて明るいことに疑問をもって、科学的に探究する場面において、電流・電圧と抵抗及び電力と発生する光の明るさとの関係に関する知識・技能を活用する」 [2年]
- ・理科<sup>7</sup> (1) 「地震の揺れの強さが震度であること、S波による揺れが主要動であることの知識を身に着けている」 [1年]

# 課題が見られた設問の例

## 小学校 国語 [5・6年] 【B1】(三)

三 (問題文略)

松山さんは、「話し合いの様子【一部分】」の自分の考えを話します。あなたが松山さんならどのような考えを話しますか。

その内容を、次の条件に合せて書きましょう。

《条件》

○「」の金子さんや青木さんのように代表で発表した北川さんや小池さんのいずれかの意見を取り上げ、その取り上げたことに対してどう考えるのかを書くこと。

○司会が話しているように、「これから言葉でどのように使っていくか」について書くこと。

○八十文字以上、百字以内にとめて書くこと。

立場や意図を明確にし、共通点に話し合うことや、自分の考えと比べ、共通点や相違点関連して考えたことなどを整理し、自分の考えをまとめ、互いの立場や意図を明確にし、計画的に話し合うことについて問う。

司会が話しているようにしているが、二人のいずれかの意見を取り上げ、それに対してどう考えたか明記していない回答が多かった。

## 中学校 国語 [1年] 【B1】(一)

一 (問題文略)

【資料】の「年代別」の「◆」「△」上下を気にしないでよい」のグラフから分かることについて、文章中でどのように説明されていますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

1 部線①「本来の意味ではない」「上下を気にしないでよい」を選んだ人の割合(29.2%)

2 部線②「わからない」と回答した人が1割弱

3 部線③「どの年代でも4人に1人以上の割合で、本来とは逆の意味で考えている」

4 部線④「反対の意味だと考えている人と意味が分からない」という人を合わせると4割近い

図表が使われている説明や記録の文章などを読む際は、図表が文章の中心的な部分、又は付加的な部分のどの部分と関連しているのかを確認するなどして、書き手の伝えたい内容をより的確に読み取る必要があり、文章とグラフとの関係性を考えながら内容を捉えることができるかを問う。

解答類型1が多く、「全体」と「年代別」に関する段落とグラフをそれぞれ結び付けながら読み、正しく捉えることができない傾向があった。

## 小学校 算数 [5年] 【A1】(2)

1 0.4mの重さが60gの針金があります。この針金について、次の問題に答えましょう。

(2) 針金1mの重さが何gになるかを考えます。1mの重さを□gとして、針金の長ささと重さの関係を下の図に表します。針金0.4mの「0.4」、0.4mの重さ60gの「60」、1mの重さ□gの「□」のそれぞれの場所は、下の図のどこになりますか。

アからオまでの中から、あてはまるものを1つずつ選んで、その記号を書きましょう。

文字問題場面をとらえ、0.4mの重さが60gとなる関係をもとにして、テープ図や数直線を書くことができるようにしたい。1mに対応する□の場所は、多くの児童がイと解答できていた。

## 中学校 数学 [2年] 【B2】(2)

2 次の図1のように、はじめの数として○に整数を入れて計算し、計算結果を求めます。

(2) 海斗さんは、計算の例の計算結果がどんな数になるかを調べています。調べたことから、初めの数としてどんな整数を入れて計算しても、計算結果はいつでも4の倍数になると予想しました。「はじめの数としてどんな整数を入れて計算しても、計算結果はいつでも4の倍数になる」という海斗さんの予想が成り立つことの説明を完成しなさい。

5のとき	$8-4 \times 2$
6のとき	$12-4 \times 3$
-1のとき	$-16-4 \times (-4)$

調べたこと

はじめの数が3のときは、計算結果は0になる。  
 $0-4 \times 0$ なので、このときも4の倍数になっている。

説明

はじめの数として入れる整数を  $n$  とすると、計算結果は  $(n-4) \times 3 + n =$

文字式や言葉を用いて根拠を明らかにする問題となるが、4の倍数となる理由を説明するために、 $4 \times (\text{整数})$  の形にすればよいという見通しを持ち、粘り強く取り組めるようにしたい。

## 小学校 理科 [5年] 【2】(3)

2(3) 実験結果から、川を流れる水の量が増えると、川の曲がっているところの外側と内側の地面のけずれれ方は、どのようにになると考えられますか。下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだわけを実験結果の「水の量」と「棒のようす」がわかるようにして書きましょう。

**水の量を変えた実験**

○地面のけずれれ方について詳しく調べるために、みぞの曲がっているところの外側と内側に3本ずつ棒を立てる。

○1本のペットボトルの水を流したとき、2本のペットボトルの水を同時に流したときの様子を調べる

**実験結果**

1本のペットボトルの水を流したとき	2本のペットボトルの水を同時に流したとき
-------------------	----------------------

- 外側も内側もけずれられる。
- 外側も内側もけずれられない。
- 外側だけがけずれられる。
- 内側だけがけずれられる。

実験結果を考慮せずに既習事項のみをもとにして、回答している児童が多かった。実験の結果をもとにして考察を行い、事実と考察を整理して記述ができるようにしたい。

## 中学校 理科 [2年] 【4】(3)

4 科学部の雪子さんは、図書便りに紹介されていたファラデーの「ろうそくの科学」を読んで、科学的に探究してレポートにまとめました。

**化学変化を原子や分子のモデルで表す**

【理科で学習したこと】  
 化学式のつくり方  
 化学変化の前後で、原子の種類と原子の数は変化しない。

【インターネットで調べたこと】  
 ガスバーナーのガスの主な成分  
 プロパンという炭素の化合物(化学式はC<sub>3</sub>H<sub>8</sub>)である。

**プロパンの燃焼**  
 酸素が十分あるときには、主に二酸化炭素と水が生じる  
 酸素が不足しているときには、主に一酸化炭素、水、炭素が生じる。

【炎が青い(酸素が十分にある)ときの化学変化】  
 酸素分子を1個にすると、化学変化の前後で原子の種類と数が合った。

【炎が赤い(酸素が十分にある)ときの化学変化】  
 酸素分子を1個にすると、化学変化の前後で原子の種類は合ったが、原子の数が合わなかった。

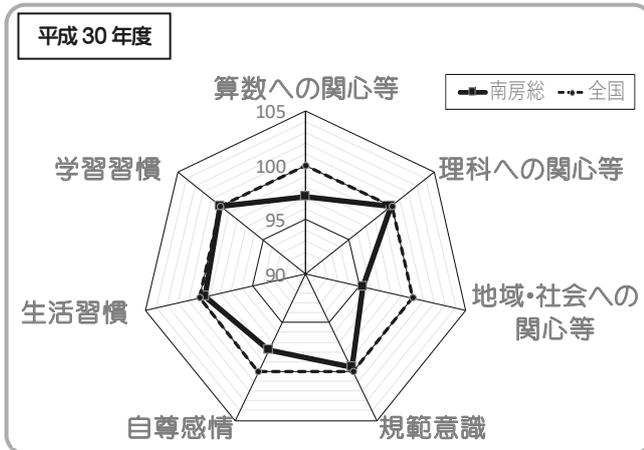
(3) 雪子さんは、「化学反応式のつくり方」をもとに、【炎が赤い(酸素が不足している)時の化学変化】を見直して「1」の中のモデルを修正しました。修正したモデルを書きなさい。

原子数が「化学反応の前後で変化しない」という知識を身につけていない生徒が多かった。酸素原子が○で表記されていることに気づき、化学変化についてモデル図を活用して説明できるようにしたい。

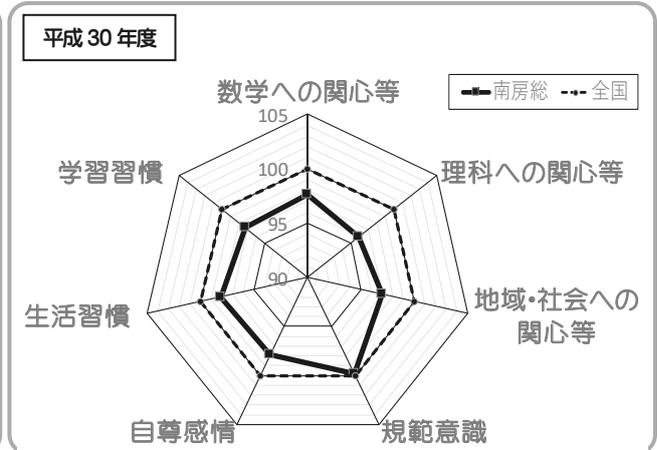
## 生活習慣や学習環境等について

\*チャート図は、全国平均を100としたときの指数で示している。

### 児童質問紙から



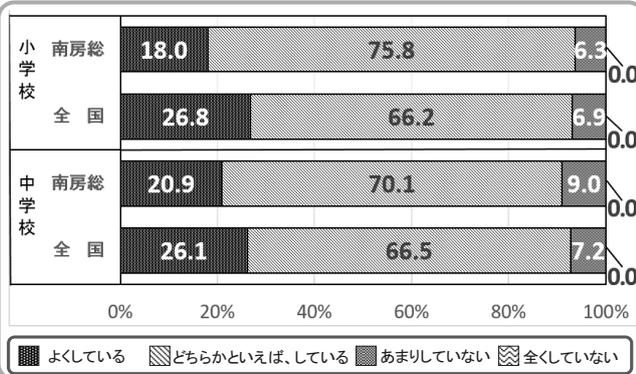
### 生徒質問紙から



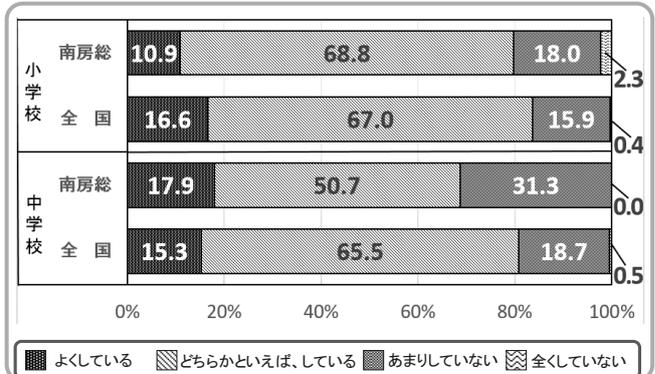
児童生徒ともに算数・数学への関心が全国に比べてやや低い傾向にあり、理科についても生徒が同様の傾向である。関心を高めるための工夫・改善が必要である。児童生徒ともに地域社会への関心がやや低く、新聞をほとんど読んでいない児童生徒が多い。児童は学習習慣において、「自分で計画を立てて勉強する」ことを意識しているが、生徒はあまり意識していない傾向にある。

### 学校質問紙から 『主体的・対話的で深い学びの充実に向けて』

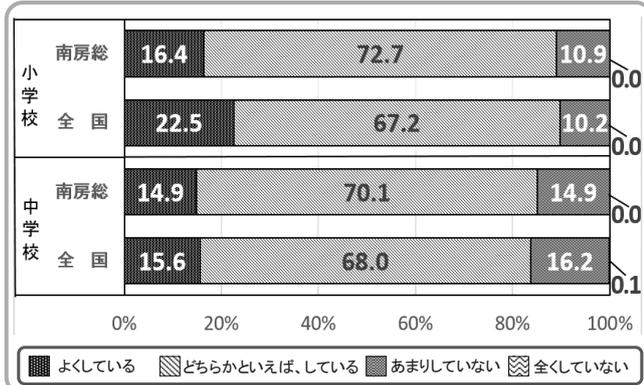
小22 中21 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をされましたか



小13 中13 調査対象学年の児童生徒は、自らが設定する課題や教員から設定される課題を理解して授業に取り組むことができていると思いますか



小26 中25 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか



・【小22中21】では全国に比べ小中学校ともに「よく改善工夫している」割合が低い。一方、中学校では「あまりしていない」割合がやや高い。

・【小13中13】では、肯定的な回答の割合が小中学校ともに全国と比べて低いが、中学校では「よく取り組んでいる」割合がやや高い。

・【小26・中25】では、小学校は「機会をよく設けている」割合が全国より低い。中学校は全体的に「機会を設ける」ことを意識している傾向にある。

### 【富津市立富津小学校】

児童質問紙の「算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか」という質問に対する回答が全国平均を下回ったこともあり、「算数科における学習システムの充実」を目指して、主に以下のような取組を行っている。

- ・授業改善—セルフチェックシートを活用し、自己の授業の振り返りを実施。思考力を高める場面（書く活動）の位置づけや児童の課題に応じた手立て等を記載し、日々の授業改善に向けて意図的な取組を実施  
つまずきやすい学習内容や習熟度状況に応じて、少人数指導を実施
- ・児童質問紙調査の実施（4年生以上）—自校の課題となる質問18項目を取り上げ、年2回調査。経年で児童の意欲を測り指導改善に生かす
- ・家庭学習カード—学習時間や内容を毎日記入する全学年での取組
- ・家庭への啓発—学年だよりの「今月の学習コーナー」に子供たちの家庭学習の様子について記載

### 【市原市立辰巳台東小学校】

教科の調査結果から記述式の正答率が低く、無解答率が高いことが課題であり、児童質問紙の調査結果からは、教科に関すること・生活習慣・学習習慣についていくつかの課題が見られた。主に以下のような取組を行っている。

- ・指導力向上—「授業力向上のための『セルフチェックシート』」を活用
- ・授業改善—「めあての明確化」「振り返り」「自分で考えさせ、書く時間の確保」などの指導の共通化を図り、継続して指導



- ・朝のチャレンジタイム—100マス作文・基礎基本の定着。学年に応じたテーマ、文字数を設定。また、自分が書いたことを俳句に表し要約
- ・千葉県学習サポーター—3・4年生での算数の学習支援、放課後学習教室の実施を通して学習意欲の向上
- ・家庭学習の手引きの作成—児童・保護者に周知

### 【館山市立第一中学校】

過去3年間の調査結果の経年変化を見ると年々改善されてきているが、国語・数学共に記述式の項目については引き続き改善が必要とされる状況である。主に以下のような取組を行っている。

- ・授業改善
  - 〈国語〉読み取った内容を自分の言葉で表現する活動、自分の意見を表現する活動の場面を設定
  - 〈数学〉生徒間で振り返りをし、学んだことを自分の言葉でノートにまとめる場面を設定
  - 〈各教科〉学習課題を明確にし、授業規律を統一（「授業が始まる前の約束」の掲示）
 自分の考えを話したり書いたりする学習活動を実施



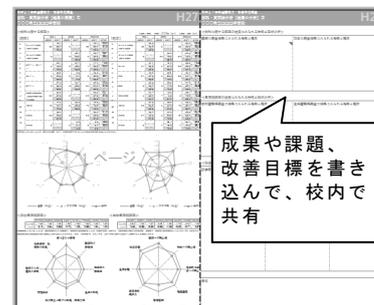
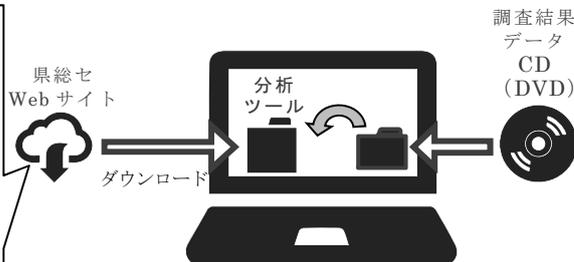
- ・朝の読書・ドリル学習—「ちばのやる気」学習ガイドの活用 月末に評価テストを実施
- ・加配教員の活用—数学・外国語の授業でのTT・少人数指導、定期テスト前の学習支援

## 2 分析ツールを活用した指導改善

市町村教育委員会及び学校による全国学力・学習状況調査の結果分析に基づく成果と課題の実態把握や指導改善サイクルの確立を支援するため、千葉県総合教育センターでは、分析ツールを提供しています。

### 《分析ツールとは》

文部科学省から提供される調査結果データを簡単な操作で可視化。自校の課題発見を支援する自動計算ツールです。



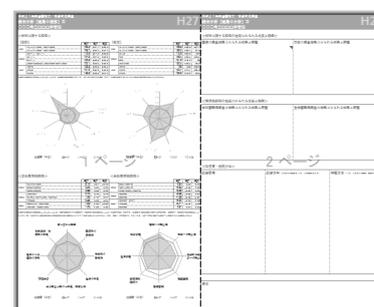
①教科・質問紙シート

成果や課題、改善目標を書き込んで、校内で共有

《分析結果は4つのシートに自動表示印刷して共有・活用》

### ○教科・質問紙分析ツール (①②の作成)

教科(国語、算数・数学、理科)や質問紙(学校質問紙、児童生徒質問紙)の結果がチャート図に示されるので、多角形の形状や面積に着目して、課題がみられる項目や成果を確認することができます。さらに過去の調査結果を同時に読み込ませることにより、経年変化の分析や、指導改善の成果を確認することができます。



②経年分析シート

### ○誤答分析ツール (③の作成)

教科(国語、算数・数学、理科)に関する調査で、課題がみられた項目や設問について、解答類型ごとの反応率を分析することができます。



③誤答分析シート

学習指導要領における学年・領域・内容に着目

解答類型ごとの反応率に着目

### 【誤答分析シート】を活用した指導改善

- ・誤答率の高い解答類型に着目〔どうつまずいたか〕
- ・学習指導要領における指導学年に着目〔いつつまずいたか〕  
→学習学年と情報を共有してつまずきを未然に防止
- ・「報告書」(国立政策研究所)の「学習指導に当たって」を参照し、つまずきの原因〔なぜつまずいたか〕と授業実践を通じて改善する方法を探る

### ○クロス集計ツール (④の作成)

児童生徒質問紙調査で課題がみられた項目や質問について、教科に関する調査結果との相関を分析することができます。児童生徒の生活習慣や学習習慣と学力との相関関係を確認することができます。



④クロス集計シート

教科×質問紙の相関関係の有無を探る

分析ツールの入手方法 (千葉県総合教育センターのWebサイト)



※ダウンロードに必要なパスワードは、県学習指導課 学力向上室長発の文書(平成30年8月1日付 事務連絡)をご覧ください。

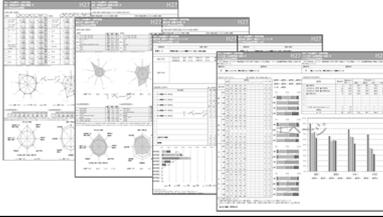
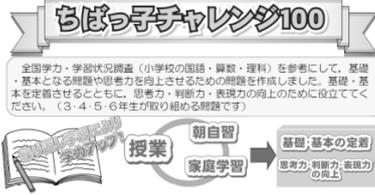
全国学力  
学習状況  
調査

「分析ツール」ダウンロードのほか、授業改善のヒントとなるリンクページを紹介しています。

- ◆県教育委員会「ちばっ子チャレンジ100」「『ちばのやる気』学習ガイド」ほか
  - ◆国立教育政策研究所「学習指導の改善・充実に向けた説明会資料」「授業アイデア例」ほか
- 印刷して活用できる素材や授業アイデアなどの情報収集に役立ちます。

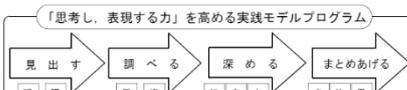
### 3 学力向上に役立つ情報

#### (1) 千葉県総合教育センターWebサイト からアクセスできる情報

<p>千葉県総合教育センター →調査・研究 →全国学力・学習状況調査 →平成30年度</p> <p>全国学力・学習状況調査 に関わるWebページ紹介 【国立教育政策研究所】への リンク</p>	<p>平成30年度全国学力・学習状況調査 解説資料</p> 	<p>調査実施後、教育委員会や学校が速やかに設問の概要や解答類型からみられる課題等を把握し、指導の改善・充実に取り組むための資料。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶5月に教育委員会及び学校に配付。</li> <li>▶小学校国語、算数、理科、中学校国語、数学、理科</li> </ul>
	<p>平成30年度全国学力・学習状況調査 報告書</p> 	<p>児童生徒の学力・学習状況を総合的に分析・評価するため、指導上の課題を分析し、改善のポイントを提示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶文部科学省による調査結果の公表時に教育委員会及び学校に配付。</li> <li>▶小学校国語、算数、理科、中学校国語、数学、理科、質問紙調査</li> </ul>
	<p>授業アイデア例</p> 	<p>調査結果を踏まえ、学校が授業の改善・充実を図る上で参考となる授業展開の一例。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶教育委員会及び学校に配付。</li> <li>▶小学校（国語・算数・理科）、中学校（国語・数学・理科）</li> </ul>
<p>千葉県総合教育センター →調査・研究 →全国学力・学習状況調査 →平成30年度</p> <p>【分析ツール】 【速報版リーフレット】</p>	<p>平成30年度全国学力・学習状況調査の結果について (リーフレット)</p> 	<p>千葉県の児童生徒の調査結果をまとめ、10月に速報版としてリーフレットを学校に配付。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶11月を中心に県内8会場で実施される「学力向上交流会」でも配布。 (さらに詳細に分析したのが本報告書)</li> </ul>
	<p>分析ツール</p> 	<p>市町村教育委員会及び学校による全国学力・学習状況調査の結果分析を支援するためのデータ処理ソフト。「教科・質問紙」「経年分析」「誤答分析」「クロス集計」の各種シートを作成できる。</p>
<p>千葉県総合教育センター →調査・研究 →全国学力・学習状況調査 →平成30年度</p> <p>全国学力・学習状況調査 に関わるWebページ紹介 【千葉県教育委員会】への リンク</p>	<p>学びの突破口ガイド</p> 	<p>小学校の国語、算数、理科について、児童がつまづきやすい内容を中心に、効果的な指導方法等をまとめた指導用冊子。ワークシートとして活用できる児童用の冊子（高学年版・中学年版・低学年版）とともに配付。活用事例も紹介されている。</p>
	<p>ちばっ子チャレンジ100 (児童)</p> 	<p>全国学力・学習状況調査（小学校の国語・算数・理科）を参考にして作成した、基礎・基本となる問題や思考力を高める問題。授業、朝自習、家庭学習資料として幅広く活用できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶小学校1～6年</li> </ul>

	<p>「ちばのやる気」学習ガイド (生徒)</p> 	<p>学習内容への見通しを持たせ、学習意欲を高めさせる教材。習熟の程度に応じて取り組むことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶中学校各学年版を学校に配付。</li> <li>▶本ガイド準拠の評価問題をWebサイトで配信。</li> </ul>
<p>千葉県総合教育センター →カリキュラムサポート室 →ガイドブック等ダウンロード</p>	<p>授業づくりガイドブック(改訂版)</p> 	<p>「授業企画」「授業展開力」「実態把握力」「授業改善力」の4つの力を伸ばす方策を、具体的にわかりやすく示している。これらの力を総合的に向上させることで児童生徒の確かな学力の定着を図る。</p>

(2) 千葉県教育委員会Webサイト からアクセスできる情報

<p>千葉県教育委員会 →学校教育 →学力向上 →「思考し、表現する力」 を高める実践モデル プログラム</p>	<p>「思考し、表現する力」を高める 実践モデルプログラム</p> 	<p>児童生徒が意欲的に取り組み、思考力・判断力・表現力を高める授業づくりのために開発されたモデルプログラム。指導事例(小・中学校の各教科・領域)も掲載。</p>
<p>→学校教育 →学力向上 →Act.4「評価改善」 アクティブプラン →「学力・学習状況」 検証事業</p>	<p>「学力・学習状況」検証事業</p> 	<p>児童・生徒の学力向上を目的として、全国学力・学習状況調査の結果等をもとに、協力校が自校の学力・学習状況調査の把握及び分析を行い、課題解決に向けた取組を行う。</p>
<p>→学校教育 →学力向上 →Act.3子どもいきいき 「授業力アップ」プラン →「ちばっ子の学び変 革」推進事業 ・ちば「授業練磨の公 開日」 ・学力向上交流会</p>	<p>「ちばっ子の学び変革」推進事業</p> 	<p>「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進する。また、関係機関の協力を得ながら研究指定校の授業実践研究を進めるとともに、教員の授業力向上を図る。</p>
	<p>ちば「授業練磨の公開日」</p> 	<p>県内全ての公立学校で授業公開を実施することで、教員が異校種を含めた他校の優れた授業を見合う機会とし、授業力向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶11月の「学力向上月間」を中心に実施。</li> </ul>
	<p>学力向上交流会</p> 	<p>ちばっ子「学力向上」総合プランをテーマに意見交換会を行ったり、「魅力ある授業づくりの達人」などの優れた授業実践や研究推進校における成果などを伝えたり、協議したりする場。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶11月を中心に実施。</li> </ul>
<p>→学校教育 →学力向上 →Act.2「子どもたちの夢 ・チャレンジ」サポ ートプラン →「学習サポーター派遣 事業」 ・家庭学習のすすめ</p>	<p>学習サポーター派遣事業</p> 	<p>児童生徒の基礎学力や学習意欲の向上を図るため小・中学校に退職教員等を派遣し、放課後の補習等による学習支援、少人数指導や習熟度別指導などの授業支援等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶県下190校に1名ずつ派遣している。</li> </ul>
	<p>「家庭学習のすすめ」サイト</p> 	<p>学習習慣の定着や家庭学習への理解の促進を図るために、保護者向けリーフレットや、児童生徒向け学習プリント、手引きモデル例を配信。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶児童、保護者及び小中学校教員向け。</li> </ul>
<p>→学校教育 →学力向上 →Act.1興味ワクワク「読 書体験学習」チャレ ンジプラン →「確かな学びの早道 「読書」事業</p>	<p>確かな学びの早道「読書」事業</p> 	<p>学校図書館の活用による児童生徒の学習意欲の向上を目指し、実践協力校による学校図書館を有効に活用した学習事例を「実践記録集」としてまとめ、県内各校に提供するなど、読書活動の一層の推進を図っている。</p>